



松戸市の子どもと子育て家庭への 支援について考える

～ワークショップ形式による意見交換～

● ワークショップについて

- ワークショップはグループに分かれ、メンバー間の相互コミュニケーションの中から個人の力(考え)を引出し、全体の創造性を高める話し合いの道具の一つです。
- グループ内での対話により、他者の経験や情報を分かち合い、改めて子どもと子育て家庭への支援を考えていただければと思います。
- ワークショップは合意形成手段ではありません。(合意形成には決定行為が伴います。)
- ワークショップは、問題や課題を再認識し、その解決に知恵を出しあうものです。

● 模造紙(道具)の活用

- 付箋紙などを使って、個人の考え(言語)を見える化していきます。周りの人の考えを視覚的に認識することで新たな考えが生まれることがあります。
- 話し合いを行いながら、気づいたことや感じたことなどを自由に付箋紙に書き出してください。
- 模造紙の中で、同じような考えの付箋紙をグルーピングするとよりわかりやすくなります。
- 形式に絶対の決まりはありませんが、時間に限りがありますので、次ページ以降、今回の大まかな流れを記載しています。



本日の概要

■ 議題2

- ワークショップ形式による意見交換

■ 目的

- 第2期松戸市子ども総合計画の策定にあたり、松戸市の子どもと子育て家庭について、自由に意見を出し合い、共に考えることを通して、改めて本市の子どもと子育て家庭への支援について考えることを目的とする。

■ 成果

- 松戸市の子どもと子育て家庭への支援についての現状及び課題を再認識し今後、再構築していく第2期松戸市子ども総合計画の施策体系や重点的取り組み等の選考材料とする。

■ テーマ

- 「松戸市の子どもと子育て家庭への支援について考える」

■ ディスカッションの流れ

- ① ディスカッションの流れ説明（上野子ども政策課長）
- ② ディスカッションのポイント説明（胡内子ども部審議監）
- ③ セッション1:「妊娠・出産から未就学児とその家庭への支援について考える」
- ④ セッション2の補足説明（藤谷子どもわかもの課長）
- ⑤ セッション2:「小中高生とその家庭への支援について考える」
- ⑥ 総括（坂野会長、胡内子ども部審議監）

■ 今回のディスカッションルール

- ① 所属や分野の垣根を越えて自由に話をしましょう。
- ② ディベートではありませんので、人の意見を否定しないようにしましょう。
- ③ グループのメンバーみんなが発言できるよう時間を考えて話しましょう。
- ④ 楽しみながら進めましょう。



「子どもの支援の担い手として、また、一人の市民として、松戸市の子ども・子育て支援についてどのように思っていますか？」

セッション1では、妊娠・出産から未就学児とその家庭への支援について考えてみてください。

たとえば・・・

- ・現在の子どもたちの様子から見えるものは？
- ・今、不足しているものは？ もう充足しているものは？
- ・このままじゃ将来マズイよ ...etc

例

現状、課題

取組み、方向性

保護者の
心にゆとり
がない

外国人の
子ども
が増えている

褒め合う、
認め合う
風土づくり

外国人向
けの利用
案内パンフ
が必要

● 進め方（時間：40分）

➤ はじめに（2分）

- ・発表者を決めます。発表者が決まりましたら、下記の通り進めてください。

➤ 付箋書き出し・個人で考える（3分）

- ・課題とその解決の方向性などに分けて、まずは思いつくまま、付箋紙に自由に書き出します。

➤ グループ内共有（10分）

- ・個人で書いた付箋紙の内容を一人ずつ読み上げながら、全員で共有します
- ・付箋紙を読み上げている間、周りの人は口を挟まず、話している人の発言に耳を傾けます
- ・子どもに対するもの、保護者に対するもの、地域で行うものなどにグルーピングしていくとわかりやすくなります。

➤ まとめ話し合い（10分）

- ・付箋紙の共有が全員終わったら、自由に話し合いを行います
- ・ここで付箋紙のグルーピングを行ってもよいです。

➤ 全グループ気づきの共有・発表（15分 1グループあたり3分）

- ・最後に、セッション1での話し合いを振り返って、班ごとに発表し、全体で共有します



「子どもの支援の担い手として、また、一人の市民として、松戸市の小中高生への支援についてどのように思っていますか？」
セッション2では、学校や家庭以外の小中高生の支援について考えてみてください。
たとえば・・・

- ・現在の子どもたちの様子から見えるものは？
- ・今、不足しているものは？ もう充足しているものは？
- ・このままじゃ将来マズイよ etc・・・

例 現状、課題

外で遊ばない

放課後に自由に過ごす場所がない

取組み、方向性

自宅、学校以外の第3の居場所づくり

体験の場の創出

・ 進め方（時間40分）

➤ はじめに（2分）

- ・発表者を決めます。発表者が決まりましたら、下記の通り進めてください。

➤ 付箋書き出し・個人で考える（3分）

- ・課題とその解決の方向性などに分けて、まずは思いつくまま、付箋紙に自由に書き出します。

➤ グループ内共有（10分）

- ・個人で書いた付箋紙の内容を一人ずつ読み上げながら、全員で共有します
- ・付箋紙を読み上げている間、周りの人は口を挟まず、話している人の発言に耳を傾けます
- ・子どもに対するもの、保護者に対するもの、地域で行うものなどにグルーピングしていくとわかりやすくなります。

➤ まとめのお話し合い（10分）

- ・付箋紙の共有が全員終わったら、自由に話し合いを行います
- ・ここで付箋紙のグルーピングを行ってもよいです。

➤ 全グループ気づきの共有・発表（15分 1グループあたり3分）

- ・最後に、セッション2での話し合いを振り返って、班ごとに発表し、全体で共有します



MEMO

日 時: _____
開催場所: _____
参加者名: _____



● 進め方の補足（リーダーのみ当日配付）

- ◆各グループのリーダーの方は、前頁の流れに沿って、グループ内で話し合いが円滑に進むよう、進行役をお願いします。
- ◆各グループのリーダーの方は、はじめに発表者を2人決めてください。決め方は自由です。
- ◆時間の進行管理は、司会（事務局）及びグループ内における市職員が行います。
- ◆時間に限りがございますので、話し合いの途中でも次の作業に進むよう、皆様のご協力をお願いします。
- ◆発表については各グループごとに、その場で発表者の方に発表をしていただきます。模造紙は事務局がお持ちいたします。
- ◆発表は各グループ3分以内となります。
残り30秒の時点で事務局から合図を出させていただきます。
- ◆ご不明な点等がございましたら、各グループにいる市職員へお声掛けください。

お力添えのほど、よろしく願いいたします。



● 進め方の補足（リーダーのみ当日配付）

- ◆各グループのリーダーの方は、前頁の流れに沿って、グループ内で話し合いが円滑に進むよう、進行役をお願いします。
- ◆各グループのリーダーの方は、はじめに発表者を2人決めてください。決め方は自由です。
- ◆時間の進行管理は、司会（事務局）がマイクでアナウンスいたします。
- ◆時間に限りがございますので、話し合いの途中でも次の作業に進むよう、皆様のご協力をお願いします。
- ◆各グループからの発表については、発表をする1名の方がその場で、どのような意見があったのかを発表していただきます。（模造紙は事務局がお持ちいたします。）
- ◆発表は各グループ3分以内となります。
残り30秒の時点で事務局から合図を出させていただきます。



班 名: _____

記入者氏名: _____

MEMO (委員の方の発言要旨を箇条書き等で良いので発言者ごとにメモしておいてください。)



班 名: _____

記入者氏名: _____

MEMO (委員の方の発言要旨を箇条書き等で良いので発言者ごとにメモしておいてください。)

